

空き家ではじめる私らしい暮らし 暮らしDIY リノベーション (岐阜県各務原市)

取組概要

暮らしDIY リノベーション

今後予想される人口減少と、空き家の増加に係る問題を解決するため、「借主負担DIY型契約」という賃貸借契約を用いた「DIY型空き家リノベーション事業」を実施する。行政によるDIY型の空き家リノベーション事業は、全国的にも例がなく、空き家等の積極的な利活用の推進を目的としている。

借主がDIYで空き家をリノベーションしながら、持ち家のように住むことができるというもの。行政、民間事業者、大学、金融機関の「産官学金」で連携し、積極的に事業展開を図ることで、空き家所有者と借主とのマッチングや、資金融資などのサポートを行っていく。また、住居学専攻の学科を持つ岐阜女子大学とは、実地研修を含めたカリキュラムの開設、生徒によるデザイン提案などの連携を行う。

人口 148,452人

担当 企画政策課

取組の効果

移住定住促進・空き家の高付加価値化へ

- (1) セミナー参加者数: 53名
- (2) DIY型空き家リノベーション事業に参加されている所有者数: 21名
平成28年度は制度の周知とオーナーとエンドユーザーの掘り起こしを積極的に行い、マッチングを図ることにより、移住定住及び空き家の減少及び高付加価値化を目指します。



セミナーの様子

創意・工夫した点

「産官学金」連携の強み

「DIY型空き家リノベーション事業」を推進するため、大学、市内に支店を持つ9行の金融機関と連携協定を締結した。「借主負担DIY型契約」を用い、借主がDIYで空き家をリノベーションする取り組みを、行政、民間企業、大学、金融機関と連携して行う取り組みは全国初となります。

他団体へのアドバイス

政策間連携とワンストップ化

空き家対策や移住定住促進については、どの自治体でも注目されている政策課題であり、組織内での政策間連携を図ることで、様々な取組を行うことが可能です。組織内の風通しをよくすることで、自分のまちに合った地方創生への取組を加速化できると考えます。



「産官学金」連携協定式